

## 学位論文審査の結果の要旨

小柳圭司

本論文は、現在、脳梗塞治療薬として開発が進められている、線溶系を促進する生理活性物質 **SMTP-7** の詳細な作用機序の解析に関するものである。**SMTP-7** は、血栓溶解に関わる酵素プラスミンの不活性前駆体プラスミノゲンのコンホーメーション変化を導き、そのプラスミンへの活性化（限定タンパク分解）を促進する。本論文では、**SMTP-7** によるプラスミノゲンの活性化促進に、生理的補助因子が必須であることを明らかにし、補助因子候補として、リン脂質、スフィンゴ脂質等を同定した。さらに、これらの因子を介した **SMTP-7** の作用に必須なプラスミノゲンの機能ドメインを同定した。これらの成果を総合し、**SMTP-7** によるプラスミノゲン活性化の詳細なモデルを提唱した。

以上のように、本論文は多くの新しい学術的知見を有しており、論文の内容、構成および公表論文などを総合的に検討した結果、本学位論文審査委員会は全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。